

AIレポート サンプル集

通常レポート・比較レポート

このPDFでは、KAIZODEで出力できる2種類のAIレポートサンプルをまとめてご確認いただけます。用途に応じたレポート形式の違いを把握し、社内共有や提案資料での活用イメージづくりにお役立てください。

Report 01

通常レポート

単一の商品・店舗・分析グループを対象に、レビュー傾向、ポジティブ要因、ネガティブ要因、改善アクションを整理します。現状把握や定例共有に向けたレポートです。

Report 02

比較レポート

複数の商品・店舗・分析グループを並べて、評価傾向や特徴の違いを比較します。競合比較、商品ライン別の課題整理、提案資料づくりに活用できます。

鉄サプリメント AIレポート

レポート生成日: 2026/06/23 18:30 対象期間: 2026/05/21 - 2026/06/20

エグゼクティブサマリー

全体としてポジティブ評価が優勢で、主要因は「使いやすさ」であり、飲みやすさ・続けやすさが再購入や継続利用の心理を後押ししていることが示唆されます。直近は評価がやや軟化しネガティブも見られ、さらに鉄サプリメント①の比重が高いため、全体指標が個別対象の動向に左右されやすい構造と考えられます。主要な改善論点は「効果実感」ですが、現時点の根拠は限定的なため追加確認が必要です；次は、直近の軟化要因の特定と、対象別に「使いやすさ・品質・価格」評価のブレや期待値ギャップの有無を継続モニタリングしてください。

平均評価

4.48

ポジティブ率

84.8%

ネガティブ率

3.0%

レビュー件数

33件

レビュー対象別サマリー

レビュー対象名	サイト	レビュー数	構成比
鉄サプリメント①		23	69.7%
鉄サプリメント②		10	30.3%

感情分析の分布

感情分布はポジティブが優勢で、ポジティブ84.8%・ネガティブ3.0%・ニュートラル12.1%、ポジ/ネガ差は81.8ptです。この大きな差から、全体として強い満足が示唆され、離脱リスクは相対的に低いと考えられます。一方でニュートラルと少数のネガティブが残っており、追加の検討や改善余地があることも示唆されます。次の確認として、ニュートラル/ネガティブの具体的な指摘点や共通要因を精査し、満足を阻害する要素の有無を確認することが望まれます。

ポジティブ	28 (84.8%)
ニュートラル	4 (12.1%)
ネガティブ	1 (3%)

評価の分布

平均4.48だが、5.0が63.6%で最多、4.0と合わせた高評価帯は84.8%、中間評価（3.0）は15.2%、低評価は0%と、高評価に大きく偏っています。高評価帯の厚みは全体満足の高さを示唆する一方、中間評価は「満足はするが改善余地を感じる層」の存在を示し、低評価ゼロは顕在的不満が目立たない状況を示唆します。平均値だけでは中間評価の課題感が埋もれやすいため、意思決定では3.0の評価内容の論点や共通点の有無、高評価（5.0/4.0）との差分を確認する追加確認が必要です。

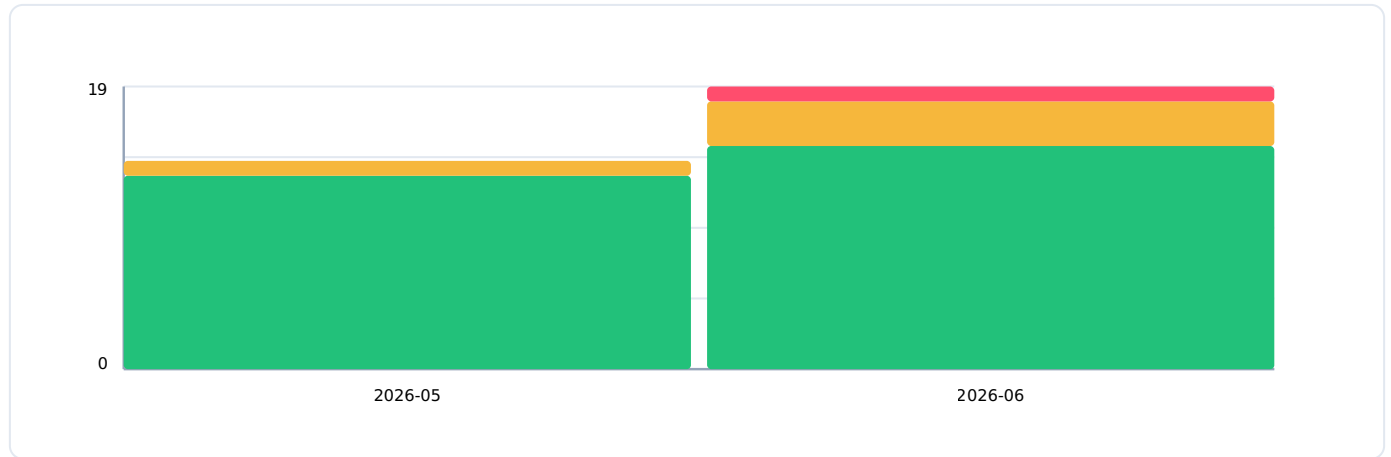
5.0	21 (63.6%)
4.0	7 (21.2%)
3.0	5 (15.2%)

時系列のトレンド分析

2026-06に平均評価が4.57→4.42 (-0.15) へ低下し、ネガティブが0→1と最大化、同時にレビュー件数が14→19に増加しており、直近でやや悪化の兆しが示唆されます。一方でポジティブ/ニュートラルも増えているため、母数拡大に伴う評価分布のブレの可能性もあり、一過性が継続的かの判断には追加確認が必要です。実務上は、**2026-06**の変化点をレビュー内容と月別件数の推移で突き合わせ、施策・運用・外部要因の直近の変更有無とタイミング、ならびに件数構成の変化を重点的に確認することが考えられます。

感情推移

■ ポジティブ ■ ニュートラル ■ ネガティブ



期間	ポジティブ	ニュートラル	ネガティブ
2026-05	13	1	0
2026-06	15	3	1

評価推移

平均評価



期間	平均評価	レビュー数
2026-05	4.57	14
2026-06	4.42	19

ポジティブ要因の詳細分析

使いやすさ

16件 (28.6%)

小粒で飲みやすい鉄分サプリについてのレビューで、鉄分がきちんと取れることを期待している。カプセルタイプからの変更満足している。

チュアブルタイプのサプリメントは食べやすく、ベリー系の味が気に入っている。その他の栄養素も含まれており、摂取が楽で助かっている。

血液検査で貧血気味と診断され、無添加で飲みやすいサプリを見つけて購入したところ、風味も良く続けやすいと感じています。

品質

14件 (25.0%)

ヘム鉄のサプリメントを飲み始めて体調が改善し、朝の起床が楽になったと報告しています。体の怠さやフラフラ感がなくなり、元気に過ごせているようです。

血液検査で貧血気味と診断され、無添加で飲みやすいサプリを見つけて購入したところ、風味も良く続けやすいと感じています。

初めてネットで購入したサプリが自分に合っており、速攻で元気になったと感じている。信じて購入したことが良かったと述べている。

価格

11件 (19.6%)

国内生産でコストパフォーマンスが良く、1日1粒のわかりやすさが評価されています。効果については期待を寄せていますが、まだ使用していないため不明です。

お手頃な価格で購入でき、飲むよりも楽に摂取できるチュアブルタイプの製品に満足している様子です。再度購入する意向も示しています。

コストパフォーマンスが良く、飲みやすいサイズのサプリメントを選んだ結果、ヘモグロビンの数値が上がったという体験が述べられています。

効果実感

5件 (8.9%)

このサプリメントは味が美味しく、無理なく続けられるため、貧血の改善にも効果があったという評価です。

立ちくらみの改善を目的に購入したサプリメントが効果を感じられ、価格も手頃で満足している様子です。

コストパフォーマンスが良く、飲みやすいサイズのサプリメントを選んだ結果、ヘモグロビンの数値が上がったという体験が述べられています。

配送

3件 (5.4%)

迅速な発送に感謝し、娘のために購入したサプリメントが飲みやすくコスパも良いと評価しています。効果を感じれば再購入を考えています。

他のヘム鉄を試したが効果が薄かったが、国内生産や効き目に期待して高評価を付けた。迅速な発送にも感謝している。

鉄分サプリが注文日の翌々に届き、毎日飲んでいますが効果はまだ不明。今後も飲み続けて再購入したいとのこと。

ネガティブ要因の詳細分析

効果実感

1件 (100.0%)

このサプリを2回目購入し、身体の不調を改善するために再度飲むことにしたという内容です。

推奨アクション

優先度
高

効果実感レビューの精査と判定見直し

2026-06のレビュー19件を再読し、『効果実感』に触れた記述を全件抜き出して評価の向きと根拠文を確認する。ネガティブ判定の1件を中心に誤判定の有無を関係者で読み合わせ、必要なら表現修正の可否を決める。

優先度
中

使いやすさ・品質の訴求順序を再編

『使いやすさ』16件と『品質』14件の高評価レビューから、小粒・チュアブル・風味・無添加・続けやすい等の表現を抽出し、商品説明の冒頭と見出しに反映する。反映後は該当要素への言及と満足度の変化をレビューで確認する。

優先度
中

2026-05→2026-06の評価変動の分解検証

両月のレビューを対象別（鉄サプリメント①/②）に分け、平均評価・件数・ポジ/ニュートラル/ネガ比率と『効果実感』言及の有無を比較する。差分が見つかった箇所は、どの対象起因かを明確化し次回の説明文修正の可否を整理する。

総合結論

平均評価4.48・ポジティブ率84.8%・ネガティブ率3.0%と全体は好調で、支持要因の中心である**使いやすさ**は現状維持ないし訴求強化が妥当と考えられます。一方でネガティブの中心は**効果実感**で、2026-06に平均評価が4.42へ低下しネガティブが1件発生しており、初期の劣化シグナルとなるリスクが示唆されます。次の一手として、効果実感を改善テーマに代表レビューで発生場面と影響範囲を特定しつつ、使いやすさのキーワードは商品説明等へ再展開、併せて2026-06の施策・仕様・運用変更点を月次棚卸して評価低下との関連仮説を検証することが重要です（追加確認が必要）。

鉄サプリ12件 比較レポート

レポート生成日: 2026/06/27 22:20 対象期間: 2026/04/21 - 2026/06/20

分析グループの概要

分析グループ	レビュー数	平均評価	ポジティブ率	ネガティブ率	対象数	レビュー対象
鉄サプリ1	41	4.6	85.4%	0%	1	鉄サプリメント①
鉄サプリ2	14	4.4	78.6%	7.1%	1	鉄サプリメント②

エグゼクティブサマリー

鉄サプリ1と鉄サプリ2の比較では、評価満足度・レビュー母数・反応傾向に明確な差があります。鉄サプリ1が平均評価とポジティブ率、レビュー件数で上回り、ネガティブ率は鉄サプリ2が最も高い一方、共通の強みは「使いやすさ」です。

発見 1

評価満足度は鉄サプリ1が最も高い

鉄サプリ1は平均評価4.56、ポジティブ率85.4%で、比較内で最高評価のグループです。

発見 2

実績データは鉄サプリ1が最も厚い

レビュー件数は鉄サプリ1が41件で最大で、判断材料の蓄積があります。

発見 3

共通の強みは「使いやすさ」

両グループでポジティブ要因として「使いやすさ」が挙がっています。

発見 4

ネガティブ反応は鉄サプリ2が相対的に高い

ネガティブ率は鉄サプリ2が7.1%で最も高く、共通のネガティブ要因は特定されていません。

総合評価

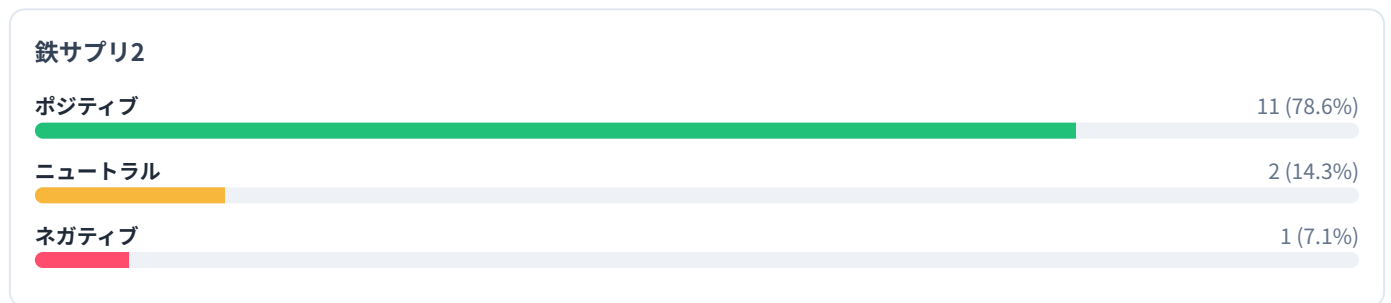
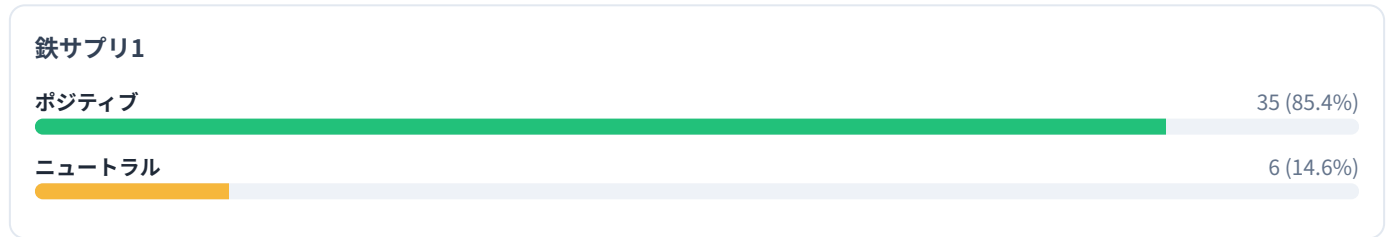
満足度・ポジティブ反応・レビュー母数で優れた鉄サプリ1を基準に比較しつつ、鉄サプリ2のネガティブ率の背景確認を進めるのが有効です。

指標の比較

指標	鉄サプリ1	鉄サプリ2
レビュー件数	41	14
平均評価	4.6	4.4
ポジティブ率	85.4%	78.6%
ネガティブ率	0%	7.1%
レビュー対象数	1	1

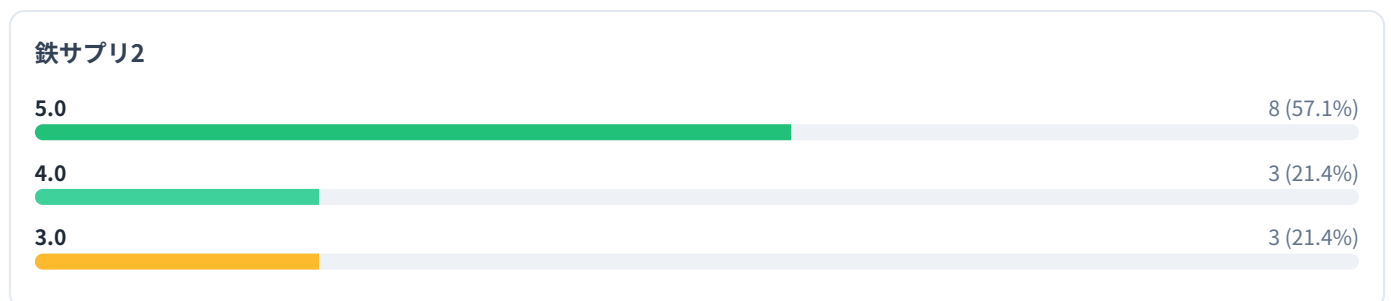
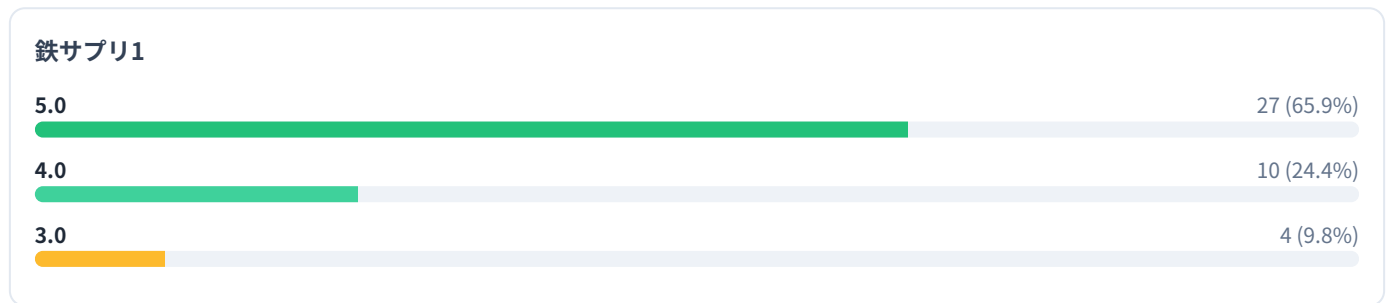
感情分布の比較

鉄サブリ1はポジティブ率85.4%（41件）、鉄サブリ2は78.6%（14件）で前者が相対的に高く、ネガティブ率は鉄サブリ2が7.1%、鉄サブリ1は0.0%です。差分の優先度としては、影響度の高い不満シグナルであるネガティブ率の差と、レビュー母数の大きさ（41件 vs 14件）を先に見るべきと示唆されます。ポジティブ率の差も満足度の傾向を示しますが、鉄サブリ2は母数が小さく比率のブレが大きい可能性があるため、要因の精査や追加確認が必要です。



評価分布の比較

平均評価は鉄サブリ1が4.56、鉄サブリ2が4.36で、いずれも高水準ながら鉄サブリ1がわずかに上回ります。高評価帯では鉄サブリ1の5.0が65.9%（27件）と厚く、鉄サブリ2の57.1%（8件）より高評価への偏りが示唆される一方、3.0の比率は鉄サブリ1が9.8%（4件）、鉄サブリ2が21.4%（3件）で後者のばらつきがやや大きいと考えられます。なお、レビュー件数に差（41件対14件）があるため分布比較の信頼性には注意が必要で、特に低評価の内訳やレビューの偏りの有無は追加確認が必要です。



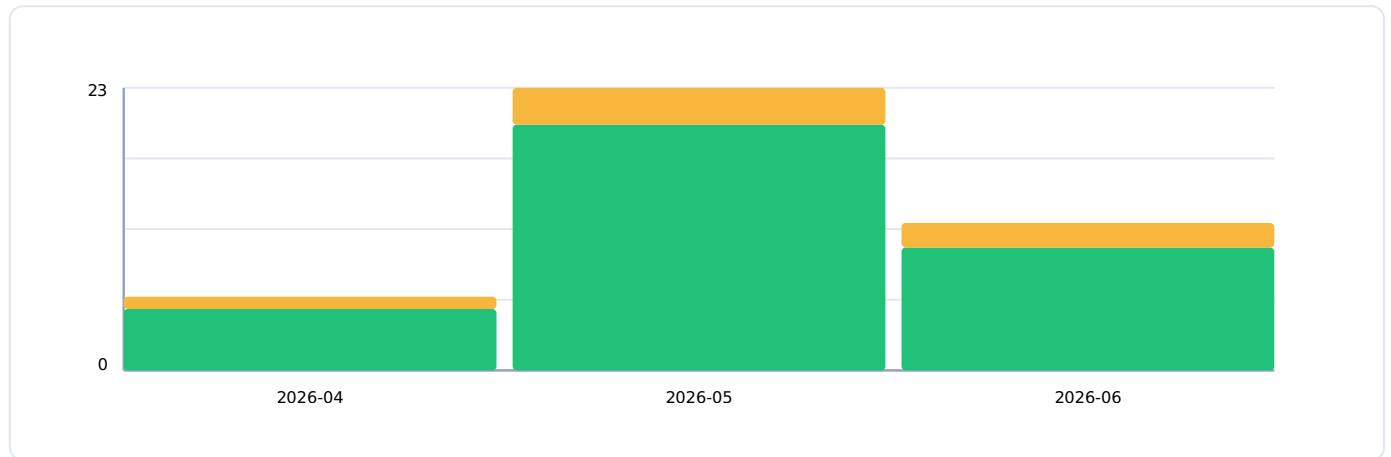
時系列のトレンド比較

月別の感情推移では、鉄サプリ1は2026-04→05でポジティブが5→20に増加し06も10でネガティブ0が継続する一方、鉄サプリ2は06にネガティブ1が出現しポジティブも5にとどまるなど、トーンの安定度に差があることが示唆されます。評価推移では、鉄サプリ1の平均評価は4.5→4.57→4.58と微増（レビュー数6→23→12）なのに対し、鉄サプリ2は5.0→4.5→4.14と低下（レビュー数1→6→7）しており、06月の下振れが一過性が継続かは追加確認が必要です。**注意点**として、鉄サプリ2の06月におけるネガティブ出現と評価低下は購入検討に影響しうる兆しと考えられるため、翌月以降の件数推移と評価分布の変化を重点的に確認することが望まれます。

感情の推移

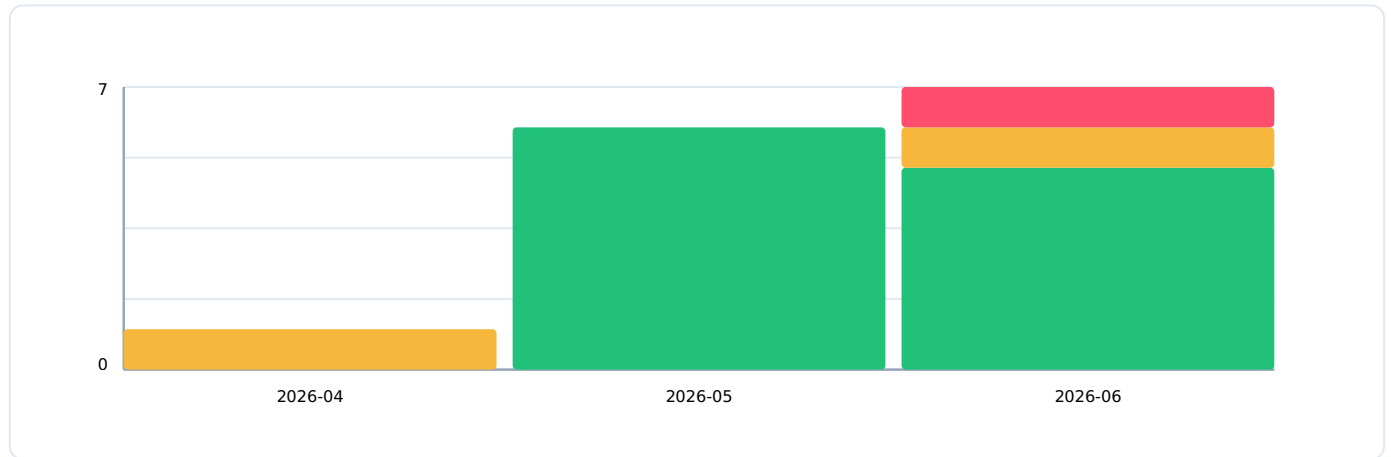
鉄サプリ1

■ ポジティブ ■ ニュートラル ■ ネガティブ



鉄サプリ2

■ ポジティブ ■ ニュートラル ■ ネガティブ

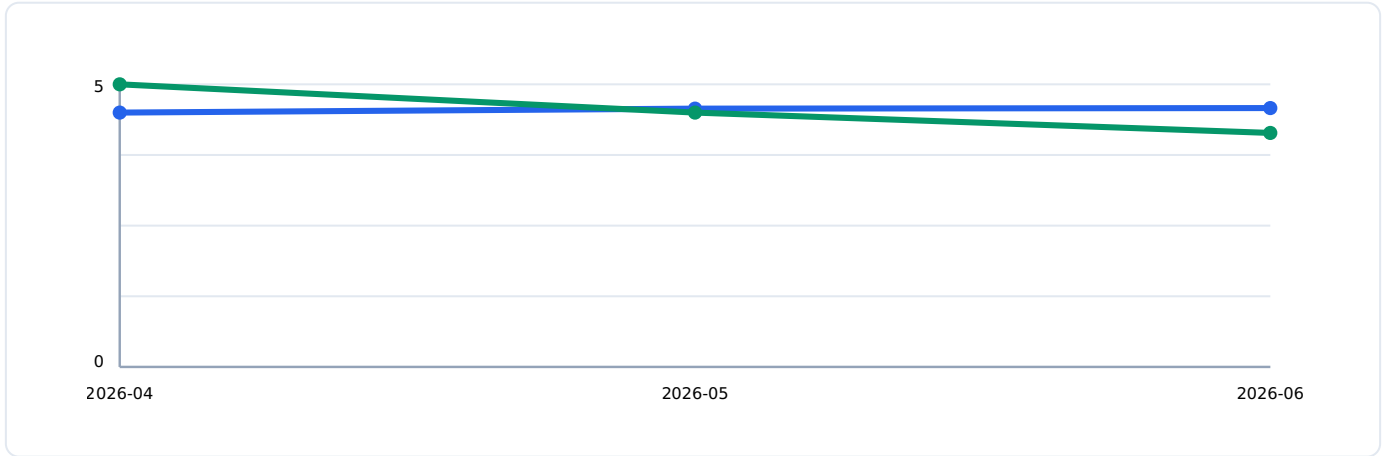


分析グループ	期間	ポジティブ	ニュートラル	ネガティブ
鉄サプリ1	2026-04	5	1	0
鉄サプリ1	2026-05	20	3	0
鉄サプリ1	2026-06	10	2	0
鉄サプリ2	2026-04	0	1	0
鉄サプリ2	2026-05	6	0	0

分析グループ	期間	ポジティブ	ニュートラル	ネガティブ
鉄サブリ2	2026-06	5	1	1

評価の推移

鉄サプリ1 鉄サプリ2



分析グループ	期間	平均評価	レビュー数
鉄サプリ1	2026-04	4.5	6
鉄サプリ1	2026-05	4.57	23
鉄サプリ1	2026-06	4.58	12
鉄サプリ2	2026-04	5.0	1
鉄サプリ2	2026-05	4.5	6
鉄サプリ2	2026-06	4.14	7

ポジティブ要因比較

鉄サプリ1

要因	件数	割合
使いやすさ	18	26.1%
品質	17	24.6%
価格	13	18.8%
配送	7	10.1%
効果実感	5	7.2%

使いやすさ

18件 (26.1%)

発送が早く、丁寧な梱包がされており、粒が小さく飲みやすいと評価されています。匂いも少なく、継続して飲みたいという意欲が示されています。

小粒で飲みやすい鉄分サプリについてのレビューで、鉄分がきちんと取れることを期待している。カプセルタイプからの変更にも満足している。

品質

17件 (24.6%)

ヘム鉄のサプリメントを飲み始めて体調が改善し、朝の起床が楽になったと報告しています。体の怠さやフラフラ感がなくなり、元気に過ごしているようです。

初めてネットで購入したサプリが自分に合っており、速攻で元気になったと感じている。信じて購入したことが良かったと述べている。

価格

13件 (18.8%)

リュウマチ患者として鉄分不足を予防するためにこの商品を購入しており、コストパフォーマンスが良いと感じている。ただし、便の色に変化があったことを気にしている。

国内生産でコストパフォーマンスが良く、1日1粒のわかりやすさが評価されています。効果については期待を寄せていますが、まだ使用していないため不明です。

鉄サプリ2

要因	件数	割合
使いやすさ	6	30%
価格	4	20%
効果実感	3	15%
品質	3	15%
接客/対応	1	5%

使いやすさ

6件 (30.0%)

チュアブルタイプのサプリメントは食べやすく、ベリー系の味が気に入っている。その他の栄養素も含まれており、摂取が楽で助かっている。

血液検査で貧血気味と診断され、無添加で飲みやすいサプリを見つけて購入したところ、風味も良く続けやすいと感じています。

価格

4件 (20.0%)

お手頃な価格で購入でき、飲むよりも楽に摂取できるチュアブルタイプの製品に満足している様です。再度購入する意向も示しています。

値上げがあったものの、他の製品より安く、鉄分含有量が多いためリピート購入した。鉄分サプリの効果を実感している。

効果実感

3件 (15.0%)

このサプリメントは味が美味しく、無理なく続けられるため、貧血の改善にも効果があったという評価です。

値上げがあったものの、他の製品より安く、鉄分含有量が多いためリピート購入した。鉄分サプリの効果を実感している。

共通要因

要因	合計件数	出現グループ数
使いやすさ	24	2
品質	20	2
価格	17	2
効果実感	8	2

差別化要因

要因	分析グループ	件数	割合
配送	鉄サブリ1	7	10.1%
接客/対応	鉄サブリ2	1	5%

ネガティブ要因比較

鉄サプリ1

要因	件数	割合
品質	2	50%
体験	1	25%
効果実感	1	25%

品質

2件 (50.0%)

健康診断で貧血と診断されたため、鉄分を補うためのサプリを購入したが、まだ効果は感じていない。今後の検査で数値を確認する予定。

粒が小さく飲み込みやすい点が評価されており、医薬部外品の鉄分サプリメントの選択についても言及されています。

体験

1件 (25.0%)

リュウマチ患者として鉄分不足を予防するためにこの商品を摂取しており、コストパフォーマンスが良いと感じている。ただし、便の色に変化があったことを気にしている。

効果実感

1件 (25.0%)

このサプリを2回目購入し、身体の不調を改善するために再度飲むことにしたという内容です。

鉄サプリ2

表示できるデータがありません。

共通要因

表示できるデータがありません。

差別化要因

要因	分析グループ	件数	割合
品質	鉄サプリ1	2	50%
効果実感	鉄サプリ1	1	25%
体験	鉄サプリ1	1	25%

総合結論

総括: 鉄サプリ1は平均評価4.56・ポジティブ率85.4%（41件）かつ月次でもネガティブ0が継続し、鉄サプリ2は6月にネガティブ出現と平均評価4.14への下振れが見られるため、現時点では前者が相対的に優位と示唆されます（母数差：41件 vs 14件には留意が必要です）。**勝ち筋:** 鉄サプリ1は高評価帯の厚みとトーンの安定を維持しつつ、共通の強みである「使いやすさ」「価格」「品質」を前面化することが有効と考えられます。**優先確認・改善論点:** ネガティブ率の差と鉄サプリ2の6月下振れが一過性かの検証（翌月以降の件数・評価分布の監視）を最優先とし、鉄サプリ1で挙がる「品質」「体験」「効果実感」の不安の芽を早期に把握・是正することが望まれます。**次回検証仮説:** 鉄サプリ2の評価低下は小規模母数による比率ブレであり継続性は限定的、また共通強み（使いやすさ・価格）が満足度を牽引している可能性を検証し、属性が不明100%のためデータ付与率の改善も含め追加確認が必要です。